

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロン D. パートン



2013-2014年度 会長 鷲塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2013 November 2

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”
Return to basics Advance with intelligence

NO.17

例会報告

●第2013回例会 平成25年11月2日(土)晴
(11月6日(水)例会変更)

●11月はロータリー財団月間

●WFF (ワールドフード+ふれ愛フェスタ)

『カンボジアの子供たちに命の水を』

カンボジア支援プロジェクト

『カンボジアの子供たちに良質の水を』

2013年11月2日(土)~4日(月)

久屋大通公園「もちの木広場~さかえ川一帯」

○主催 国際ロータリー第2760地区

ワールド・フード+ふれ愛フェスタ実行委員会

○協賛 国際ロータリー第2760地区83RC

○後援 名古屋市、

中華人民共和国駐名古屋総領事館、

在名古屋韓国総領事館、

在名古屋カナダ総領事館、

在名古屋ブラジル総領事館、

在名古屋ペルー共和国総領事館、

在名古屋カンボジア王国名誉領事館

WFF開会式(会長 鷲塚貞長)

“文化の日が、合わせて、

ロータリーデーと称される時を目指して”

今年は台風の群発で、何とも気のもめる空模様ありましたが、ロータリアンの熱意と気合い、そして、多くの方々のご支援頂き、澄み切った秋晴れのもと、開会初日を迎えました。

ロータリーは、一人一人が十分な社会奉仕をできる人達の集まりです。

故に従来から、ロータリーの日本での奉仕活動は、表に出ませんでした。

RIのグローバルな奉仕活動では、ポリオの撲滅に長年にわたる巨額の援助、各種奨学金制度など、また個々の会員レベルでは、例えばビルゲイツ氏の巨額の寄付行為、また国内では、毎年カンボジアに小学校を、個人で寄贈の枚挙にいとまがありませんが、これらの事例の、ほとんどは、世間一般には知られていません。

しかしながら、時代の変化とともに、ロータリーの奉仕活動の在り方は、変化してきました。

先進国型の奉仕活動は、ロータリアンがリーダーになり、一般の方々と共に奉仕活動を展開し、奉仕のさらなる拡大を計るようになりました。

今回のWFFは、日本での最初の試みです。

カンボジアでは、遠路の水くみは学童の仕事で、多くの子供達がそのために通学ができません。簡易水道を援助し、問題の解決を計ります。

ポリオの撲滅も、ナイジェリア、アフガニスタン、パキスタンと、発生国を3国にまで追い込みましたが、この国々の複雑な事情により、撲滅への最後の1歩に難航しています。

これらの、2つの奉仕活動の達成を掲げたのが、今回のWFFです。

ご来場の皆様には、世界のフーズ、物産、イベント、R活動の紹介ブースなど、多彩な催事をお楽しみいただくとともに、Rの奉仕活動に何たるかを、ご理解いただければ幸いです。

この事業は、今後も継続の予定です。

やがて11月の文化の日は、ロータリーデーと称される日も遠くないと思います。

今日はそのキックオフです。

それでは、本日からの3日間のイベントが、盛会裏に終始し、その使命を十分に果たすことを念願し、ご挨拶といたします。

WFF会場・例会挨拶

“やがて大木に”

名古屋和合ロータリークラブ会長 鷲塚貞長
「鷲塚年度は、私が国際奉仕委員長です」「自分はカナダでの、6年余のロータリー歴での体験から、日本のロータリーでも実施したい、いわゆる、先進国型奉仕活動の構想があります」。

福田会員から、上述の構想の実施希望の相談を受けたのは、私がノミニニーに就任した直後のことでした。

かねがね、国の内外における、メンバーの減少とロータリー活動の在り方に、前向きな対応の必要性を感じていた時期でもあり、年度の重要課題にと、決意を新たにしました。

新規事業を成就するには、今の身動きもできない事務局では到底不可能と、ただちに移転計画を推進

ワールドフード + ふれ愛フェスタ



オープニング
中国、ブラジル、ペルーの各領事のご参加を得て開幕



田中大会名誉会長



鷲塚大会会長



福田大会実行委員長



メインゲート



ポリオ「あと少し」撮影ボード



約20カ国飲食店



名古屋和合RC環境保全委員会



領事館ブース(カナダ&ペルー)

をはかりました。

間もなく、もと会長、谷会員の会社所有の空き物件が見つかり、地の利、面積など、新事務局に恰好で、また、ご好意により、格安での賃貸がお願いできる内諾を得、移転を即断実行しました。

会場予定地「もちの木広場」は市所有地で、市の後援が無ければ賃受け不可と判明。さらには、「物販事業に関し、後援をした前例がないのでお断り」と、の委員長からの報告を受けり、しかるべき筋にお願いし、ロータリークラブの公共性をご理解いただき、後援を取り付けました。

その頃、活発な地区活動を展開している、福田国際奉仕委員長が地区を通して、R Iに要請した公共的イメージ補助金(P I G))は、P I G総予算の半減にも関わらず、満額2万ドルの決定の通知を得ました。

このタイミングで、和合単独事業から、2760地区の事業への拡大が良策であろうと、ガバナーとのトップ会談を行い、和合RC担当、地区全面協力への、基本路線が確立しました。

W F Fの予算案、事業計画案は、元気印の福田委員長が、時々発する火の粉を、会長がぬれ雑巾を持って走りまわり、またその後を、服部幹事が会長火花の消火に追っかけるなど、試行錯誤の中、経時的に事業計画は具体化し、会員各位の、活力ある物心共のご協力を得、今日の開催日にいたりしました。

福田哲三国際奉仕委員長がカナダから持ち帰った、「先進国型ロータリー奉仕活動」という苗木は、今日ここに、W F Fの開会式という形で、日本のロータリーに植樹され、今後、大木へと成長することと確信します。

●出席報告 会員 104 名中 出席79名
(98)
出席率80.61% 修正出席率84.00%
(10月23日分)

●ビジター紹介 (11月6日ビジター受付)
小栗 利朗君 (伊勢RC) 外56名

○このウィクリーは再生紙を使用しております。